

特記仕様書

1 件 名 : エンジン整備場等雨漏り補修工事

2 工事場所 : 航空自衛隊松島基地

3 概 要

(1) エンジン整備場

ア エキスパンションジョイント(以下「EXP. J」という。)の撤去交換

イ 換気扇周りシーリング交換

(2) 施設隊事務所

ア EXP. Jの点検・調整

イ 水切りのシーリング交換及び水切り用アルミフラットバー設置

(3) 交換機室

ア 塗装改修工事

イ 建具周辺シーリング交換及び外壁用ステンレス製換気口設置

4 一般共通事項

(1) 仕様書

本工事は、本仕様書及び図面に記載してある事項のほか、公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書に従い遺漏なく実施するものとする。ただし、本工事に関係なき事項については適用しない。また、これらに明記なき事項については、監督官の指示に従い実施するものとする。

(2) 疑義

図面と仕様書に定められた内容に疑義が生じた場合、監督官と協議のうえ実施するものとする。

(3) 現場管理

ア 安全管理

(ア) 施工中は、常に安全確保に留意し現場管理を行い災害及び事故防止に努める。

(イ) 現場の安全衛生は、現場代理人が責任者となり労働安全衛生法その他関係法令に従ってこれを行う。

イ 災害時の対処

災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに二次災害の防止に努め、その経緯を監督官に報告する。

ウ 立入制限

本工事のため基地内に入門する関係者は、指定された場所以外にみだりに立入りしてはならない。

エ 写真

(ア) 工事写真は、施工前、施工中、施工後、材料検査及び目視できない箇所の施工状況、その他監督官の指示により撮影し、各1枚をアルバムに整理し、提出するものとする。また写真撮影は定点、同一方向から撮影するものとする。

(イ) 本工事で撮影した写真データは、CD-R又はDVD-Rに記録後、事前にウィルススキャンを実施したものを提出するものとし、その後請負者は、写真データを削除するものとする。

オ 施工時間

施工時間は、平日の0815～1700を基準とする。ただし、予め監督官の承諾を受けた場合はこの限りではない。また、夜間及び平日以外に工事を行う場合は別に定める様式により監督官に申請するものとする。

カ 設計図書等の管理

(ア) 設計図書及び写真等を、本工事に使用する以外の目的で、第三者に使用させてはならない。また、その内容を漏洩してはならない。

(イ) 請負者は、発注者から貸与された図面等を、施工完了後すべて監督官に返納するものとする。

キ 基地内における規定事項の遵守

本工事のため基地内に入門する関係者は、松島基地所定の諸規則に従って行動するものとする。

(4) その他

ア 請負者は、他の工作物等に損害を与えないように施工するものとする。損害を与えた場合は、速やかに監督官に報告し、請負者の負担において復旧するものとする。また、第三者等に損害を与えた場合には、速やかに監督官に報告し、請負者の責任において補償するものとする。

イ 緊急事態の発生に備え、予め「緊急連絡先一覧表」を作成し、監督官に提出するものとし、一部を保管しておくものとする。

5 特記事項

(1) 本工事の施工は、下表を基準とする。

工 種	名 称	場 所	仕 様・形 状	数 量
防水改修工事	シーリング再充填(幅10mm)	施設事務所	外壁水切り周り	16.20m
	シーリング再充填(幅15mm)	交換機室	内壁側建具周り	5.95m
			外壁側建具周り	1.76m
	シーリング再充填(幅20mm)	エンジン整備場	換気扇カバー (1箇所2.5m)2箇所	5.00m
		交換機室	外壁側建具周り	5.82m
	シーリング撤去	シーリング再充填に同じ(合計数量)		34.73m
金属工事	EXP. J (止水ゴム含む) 撤去・交換	エンジン整備場	A. 東側壁面(壁-壁)	8.92m
			B. 西側壁面(壁-壁)	9.90m
			C. 南側壁面(壁-壁)	7.65m
			D. 屋根部(屋根-壁)	24.96m
			E. 屋根部(屋根-屋根)	5.00m
			F. 屋根部(屋根-壁)	27.30m
	EXP. J点検及び調整	施設事務所	点検及び調整	16.20m
	水切り用フラットバー取付	施設事務所	アルミ製4cm幅	16.20m
	外壁用ステンレス製換気口取付	交換機室	450×450mm程度	2箇所

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事名称	エンジン整備場等雨漏り補修工事			図面番号	全10葉の内1
図面名称	特記仕様書			縮 尺	
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班 長	設 計
松島基地施設隊				令和5年 5月15日	

工 種	名 称	場 所	仕様・形状	数 量
塗装改修工事	内壁塗装改修 (既存塗膜内アスベスト含有)	交換機室	下地調整 (RA種)	3.61㎡
			塗装 EP塗り (B種)	
	外壁塗装改修 (既存塗膜内アスベスト含有)	交換機室	下地調整 (RA種)	6.35㎡
			塗装 EP塗り (B種)	

(2) 仮設工事

ア 現場の安全及び施工を十分に考慮し、適切な足場の設置、養生を行うこと。また、施工後の清掃は十分に行うこと。

イ 足場を設ける場合は、枠組本足場を基準とし「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省平成21年4月24日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき、設置すること。

ウ 高所作業における墜落事故防止対策のため、適切な親綱の設置及び墜落制止用器具を使用し作業を行うこと。

エ 施工詳細図を任意の様式で提出し、監督官の承認を得ること。

(3) 防水改修工事

シーリング再充填

ア 目地深さがシーリング材寸法より深い場合は、バックアップ材を設置し、10mm以上の深さがえられるようにする。

イ 使用するシーリング材は、下表を基準とする。また、使用材料の試験成績書を任意の様式で提出し、監督官の承認を得ること。

名 称	規格番号・名称
MS-2変成シリコン（2成分形）	JIS A 5758（建築用シーリング材）

(4) 金属工事

ア EXP. J（止水ゴム含む）撤去・交換

（ア）EXP. J（止水ゴム含む）を交換する際は、新たな製品を取付けるとともにEXP. Jの作動不良や漏水が発生しないよう納まりを考慮した上で取付けを行うものとする。

（イ）取付けるEXP. J（止水ゴム含む）の製品は既存EXP. Jと同等品以上とする。

イ 水切り用フラットバー取付

水切り用フラットバーを取付ける際は、ビス止めとし防水処理を行うものとする。

ウ EXP. Jの点検及び調整

（ア）EXP. Jの点検及び調整は下表を基準とする。

施工場所	名 称	点 検 項 目	数 量
施設事務所	EXP. J点検及び調整 (内部点検整備の上再取付)	①可動域内の障害物の有無	16.20m
		②変形や作動上の問題の有無	
		③漏水の有無	
		④各部のゆるみの有無及び増締め	

（イ）内部点検の異常の有無を任意の様式で監督官に提出するものとする。

エ 施工詳細図を任意の様式で提出し、監督官の承認を得ること。

(5) 塗装改修工事

内壁及び外壁塗装改修

ア 下地調整

（ア）既存塗膜の除去は施工面を全面除去すること。除去する際は、塗料内に含まれるアスベストの飛散防止対策を行うこと。

（イ）下地調整において使用する材料は、下表を基準とする。また、使用材料の試験成績書を任意の様式で監督官に提出し、承認を得ること。

工 程	規格番号・名称
吸込止め	JIS A 5663（合成樹脂エマルジョンシーラー）
下地調整塗り	JIS A 6916（建築用下地調整塗材）C-2
パテしごき	JIS A 6916（建築用下地調整塗材）C-1
	JIS A 5669（合成樹脂エマルジョンパテ）外部に用いらない

イ 塗装

塗装は合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP塗り）B種とし、使用する材料は、下表を基準とする。また、使用材料の試験成績書を任意の様式で監督官に提出し、承認を得ること。

工 程	規格番号・名称
下塗り	JIS A 5663（合成樹脂エマルジョンシーラー）
中塗り	JIS A 5663（合成樹脂エマルジョンペイント）1種
上塗り	JIS A 5663（合成樹脂エマルジョンペイント）1種

(6) 工事完了後、メーカー保証期間内にその性能を満たさなくなった場合、無償で修復すること。

(7) 産業廃棄物及び発生材の処理

本工事の施工により発生する産業廃棄物の処分（又は特定建設資材の再資源化に係る処分）は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）（又は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号））に基づいて適正に処分するものとする。また、金属類等監督官の指示する発生材に関しては、調書を作成し監督官の指定する場所へ集積するものとする。

(8) その他

各材料は、現場搬入時及び、施工前に監督官の検査を受けるものとする。

(9) 石綿対策の規制対応について

ア 請負者は、関係法令に基づき、必要な事前調査を行い、労働基準監督署に報告を行うものとする。なお官側で実施した石綿調査結果を活用できるものとする。

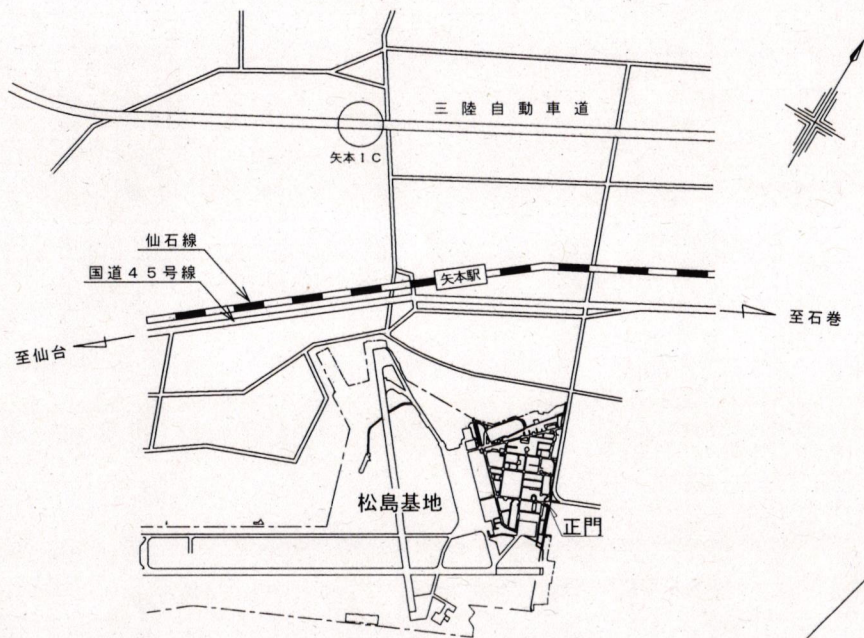
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製					
工事 名称	エンジン整備場等雨漏り 補修工事			図面 番号	全10葉 の内2
図面 名称	特記仕様書			縮 尺	
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班 長	設 計
松島基地施設隊				令和5年 5月15日	

イ 官側で実施した石綿調査結果は以下のとおり。

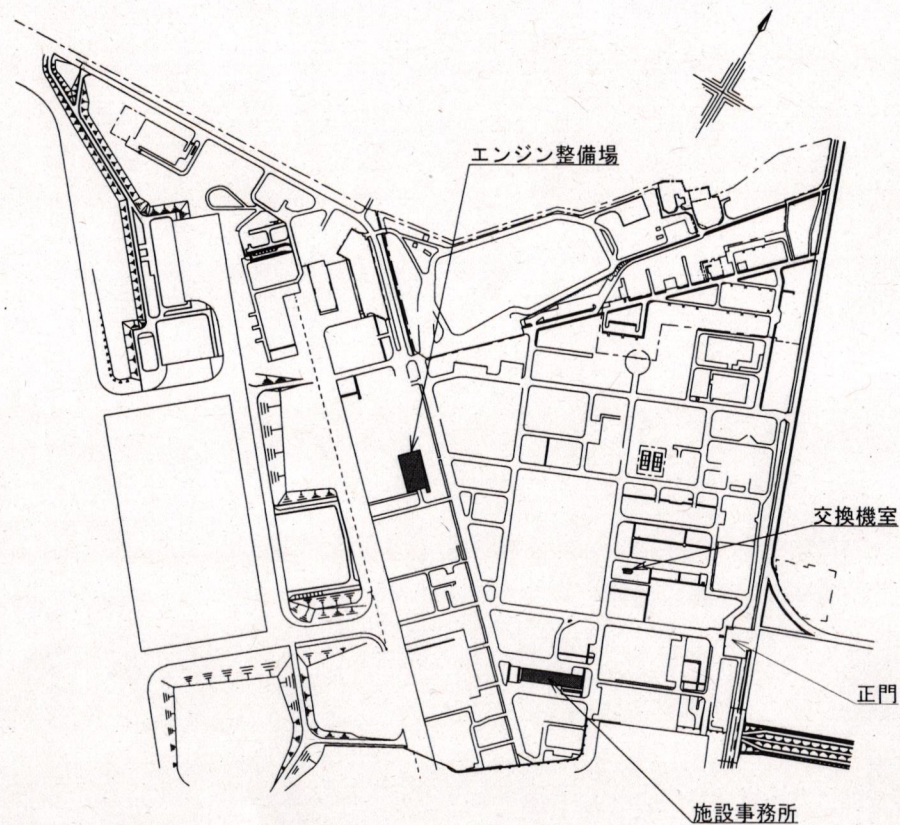
場 所	建 材	判 定	備 考
エンジン整備場	外装 R C造塗料材	重量の0.1%以下	
	外装（増築側） R C造塗料材	重量の0.1%以下	
	内部建材（ケイ酸カルシウム板 1 種）	重量の0.1%以下	
	エキスパンションジョイント断熱材	重量の0.1%以下	
施設事務所	外壁 R C造塗料材	重量の0.1%以下	
交換機室	外装 塗料	含 有	4層目
	内装 塗料	含 有	2層目

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事 名称	エンジン整備場等雨漏り 補修工事			図面 番号	全10葉 の内3
図面 名称	特記仕様書			縮 尺	
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班 長	設 計
松島基地施設隊			令和5年 5月15日		



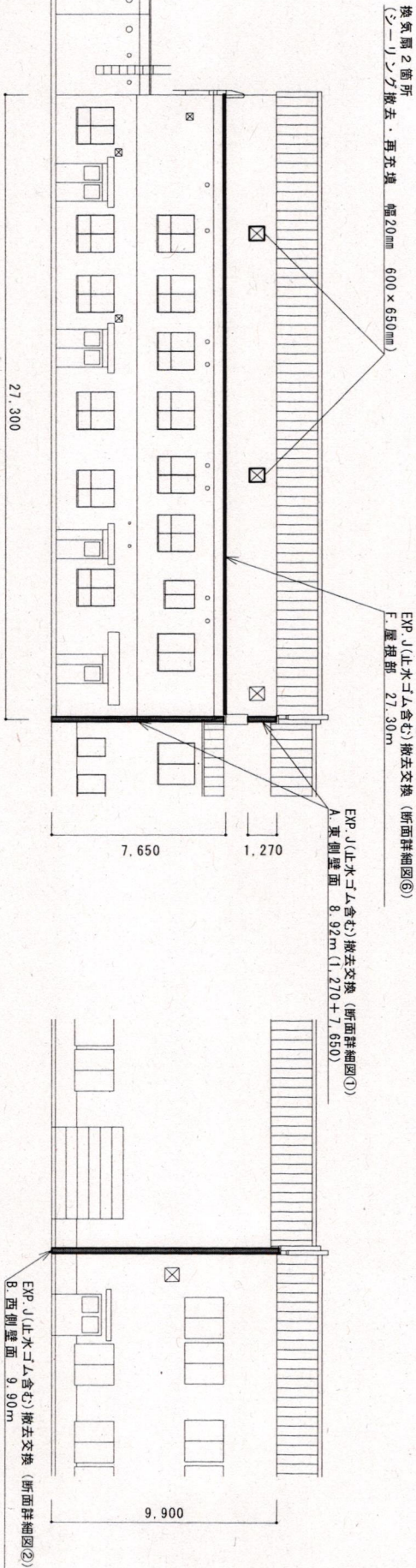
案内図



配置図

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製					
工事名称	エンジン整備場等雨漏り補修工事			図面番号	全10葉の内4
図面名称	案内図・配置図			縮尺	
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班長	設計
松島基地施設隊				令和5年 5月15日	

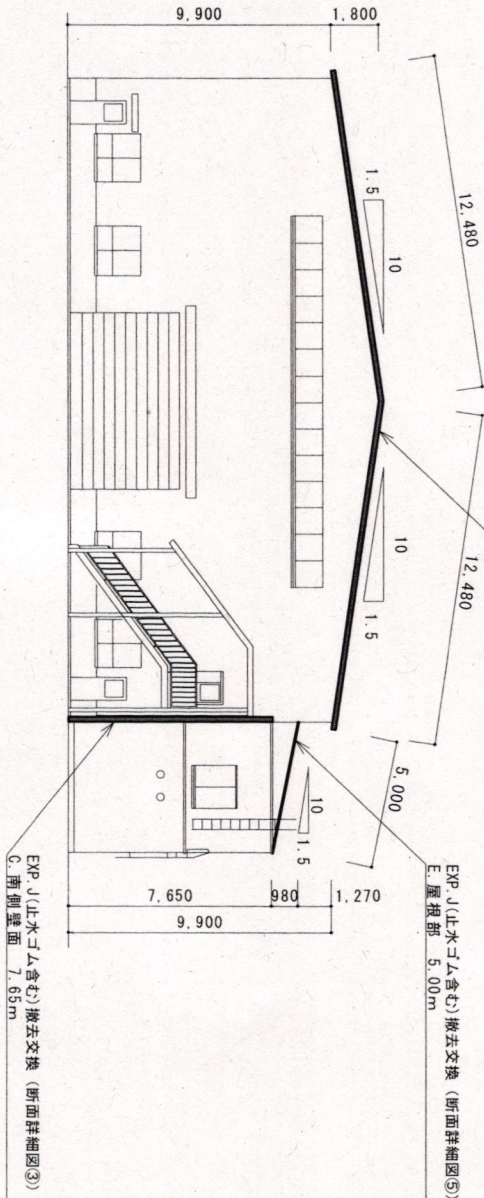
エンジン整備場



東側立面図

EXP J(止水コム含む)撤去交換 (断面詳細図④)
D. 屋根部 24.96m (12.480+12.480)

EXP J(止水コム含む)撤去交換 (断面詳細図⑤)
E. 屋根部 5.00m

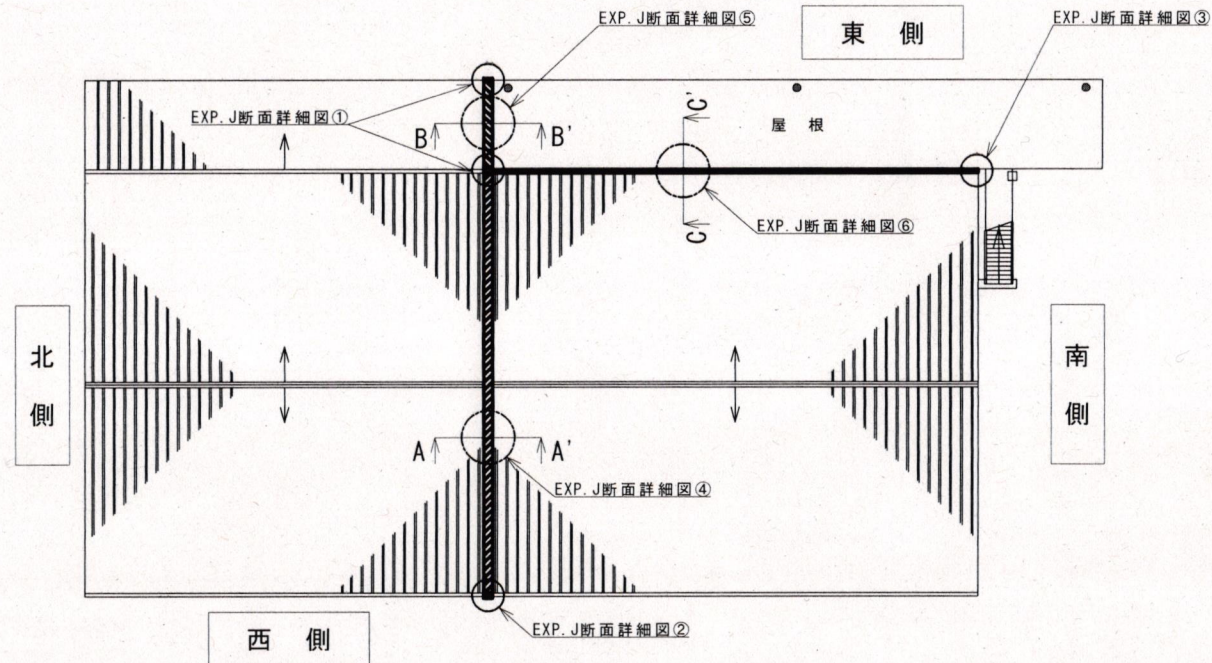


西側立面図

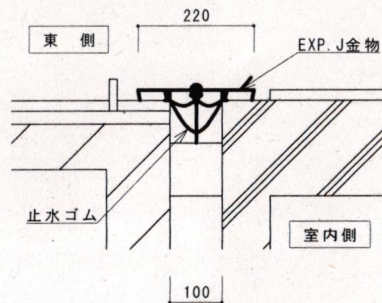
南側立面図

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製			
工事名称	エンジン整備場等雨漏り補修工事	図面番号	全10葉の内5
図面名称	エンジン整備場立面図	縮尺	
施設隊長	総括班長 企画係長	小隊長	班長 設計
松島基地施設隊		令和5年 5月15日	

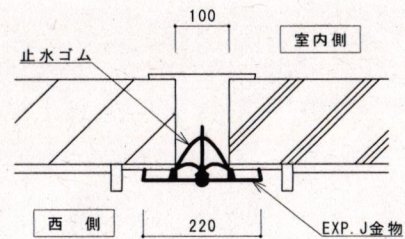
エンジン整備場



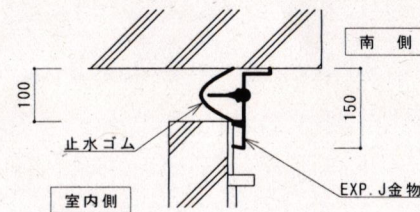
屋根伏図



EXP. J断面詳細図①



EXP. J断面詳細図②

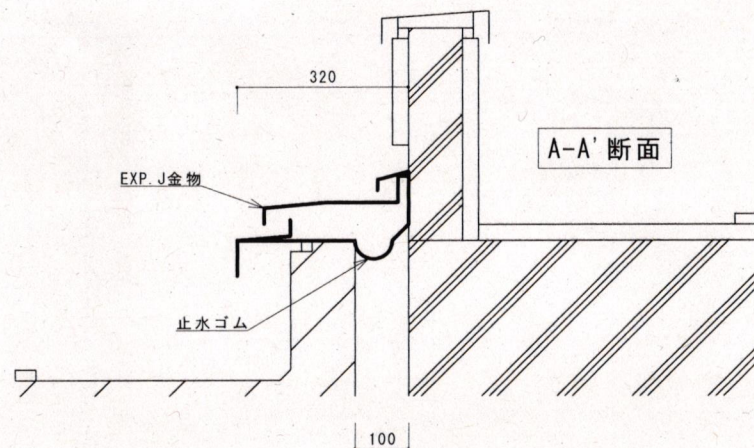


EXP. J断面詳細図③

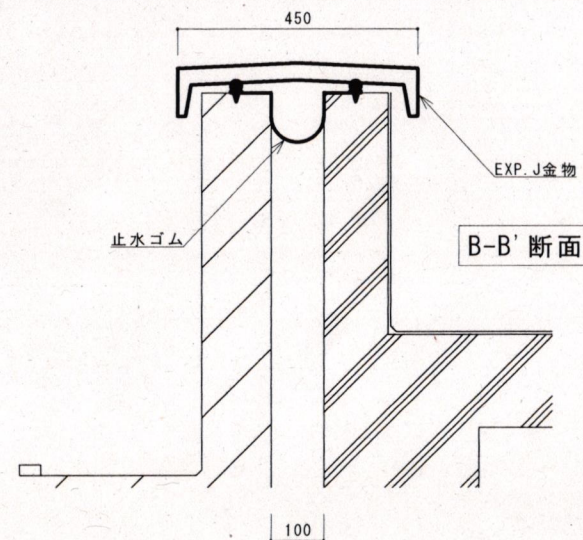
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事名称	エンジン整備場等雨漏り補修工事			図面番号	全10葉の内6
図面名称	エンジン整備場EXP. J詳細図			縮 尺	
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班 長	設 計
松島基地施設隊			令和5年 5月15日		

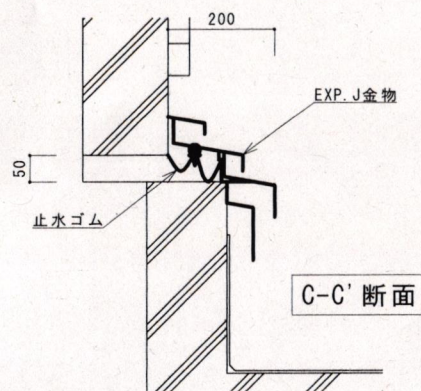
エンジン整備場



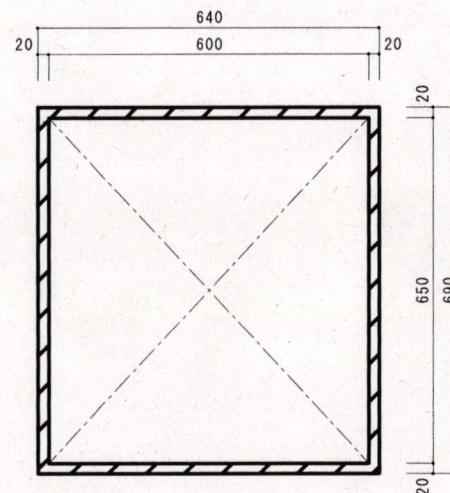
EXP. J断面詳細図④



EXP. J断面詳細図⑤



EXP. J断面詳細図⑥

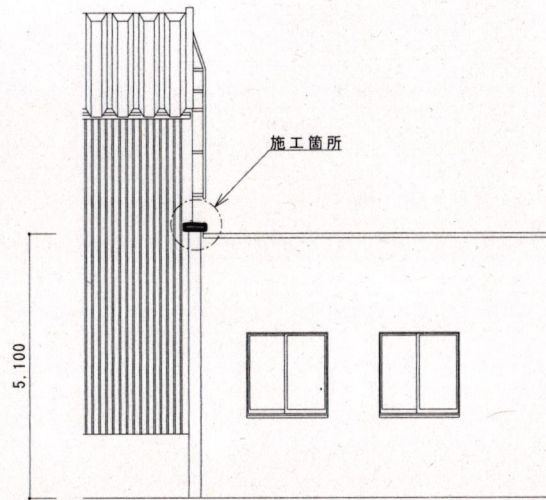


換気扇2箇所 詳細図
(シーリング撤去・再充填 20mm幅)

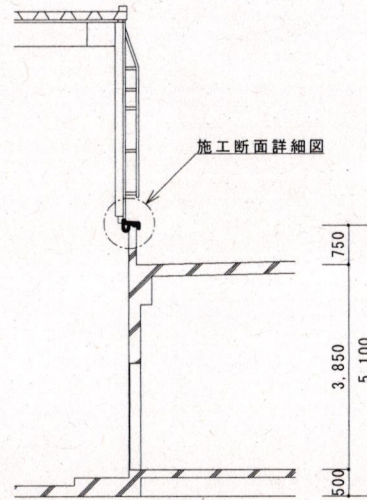
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事名称	エンジン整備場等雨漏り補修工事	図面番号	全10葉の内7
図面名称	エンジン整備場EXP. J詳細図	縮尺	
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長
班長	設計		
松島基地施設隊		令和5年 5月15日	

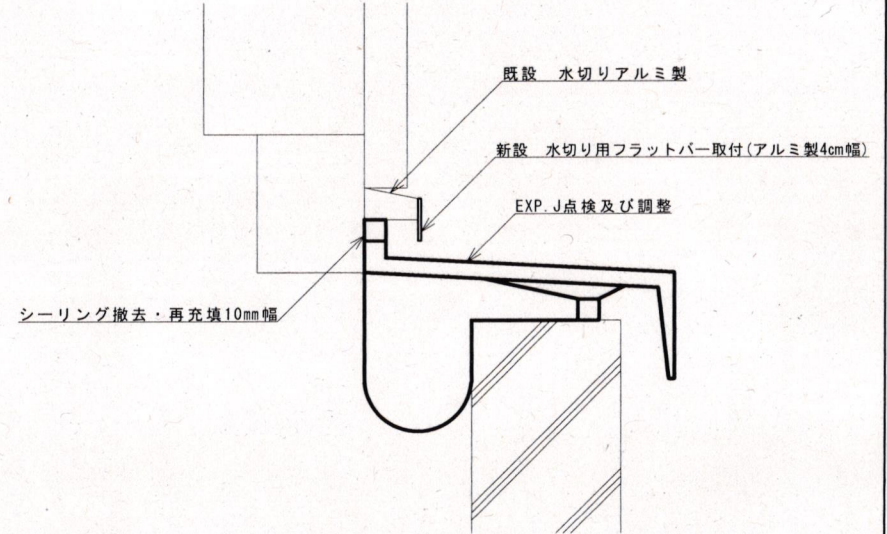
施設事務所



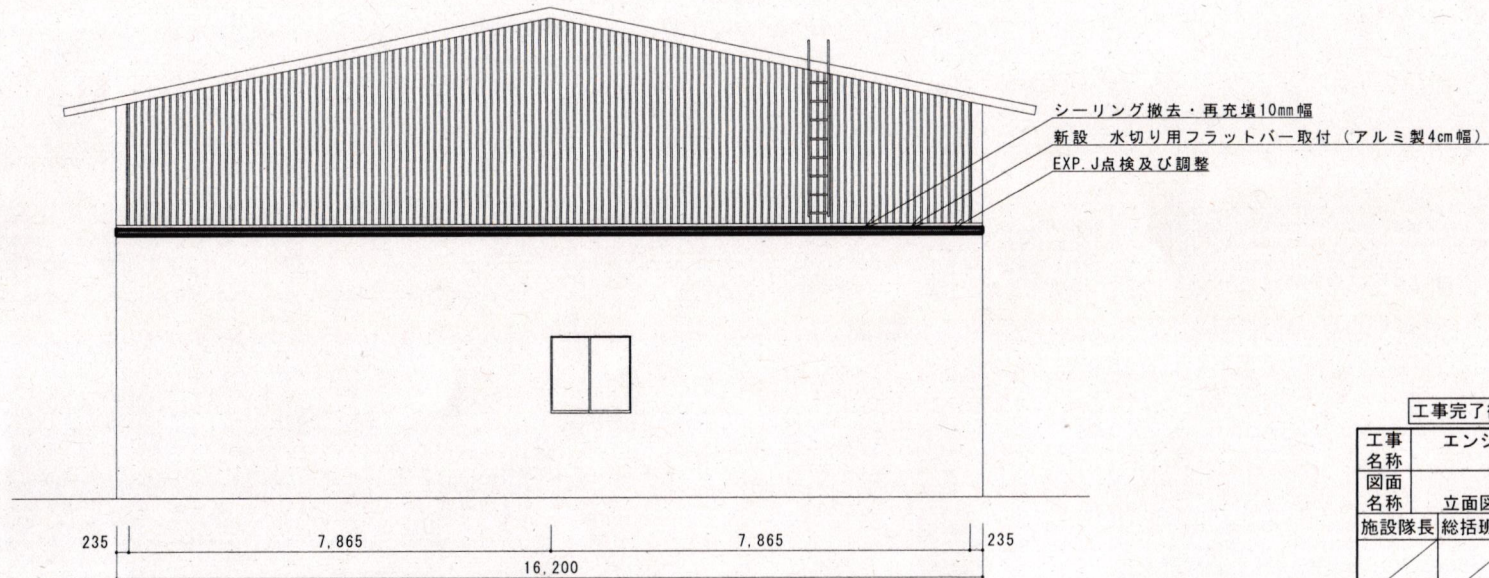
南側立面図



南側断面図



施工断面詳細図



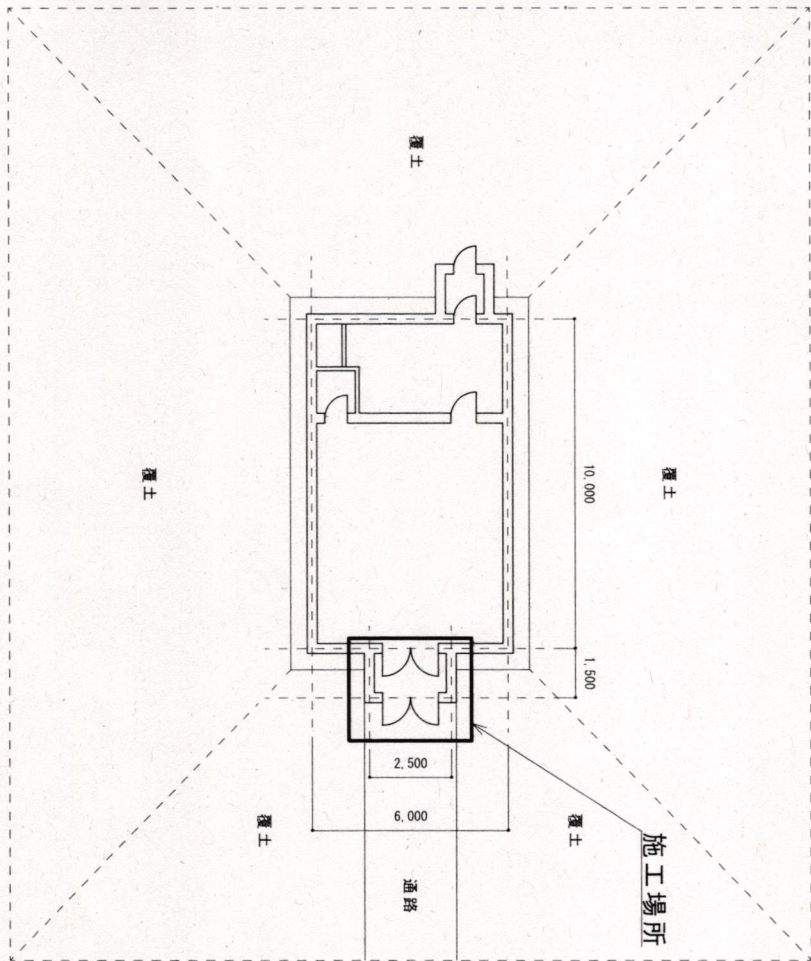
東側立面図

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

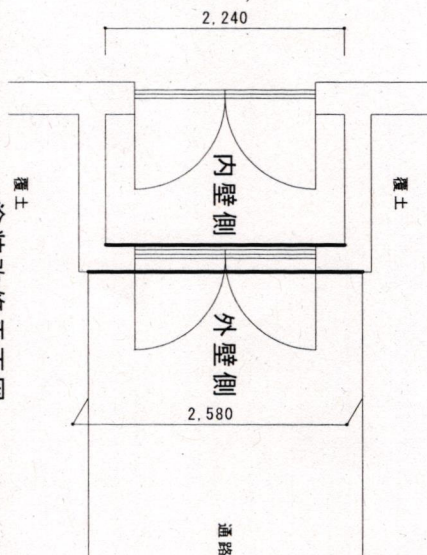
工事名称	エンジン整備場等雨漏り補修工事			図面番号	全10葉の内8	
図面名称	施設事務所 立面図・断面図・詳細図			縮尺		
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班長	設計	
松島基地施設隊				令和5年 5月15日		

交換機室

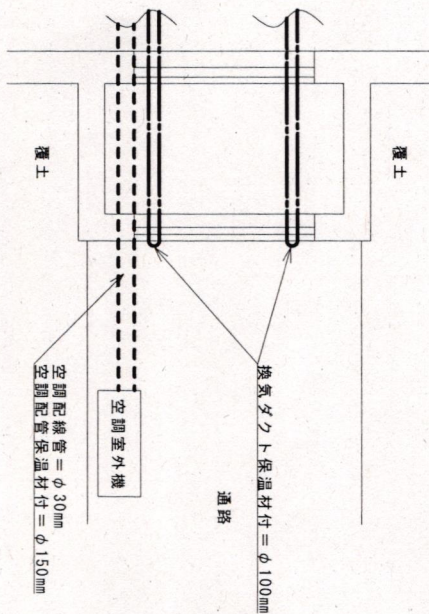
平面図



塗装改修平面図



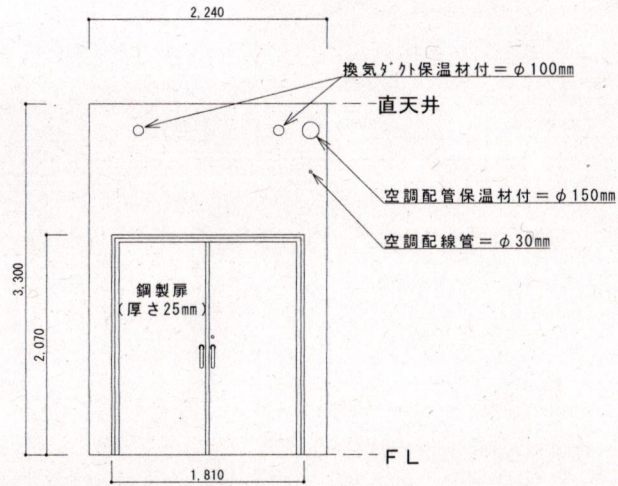
既設配管平面図



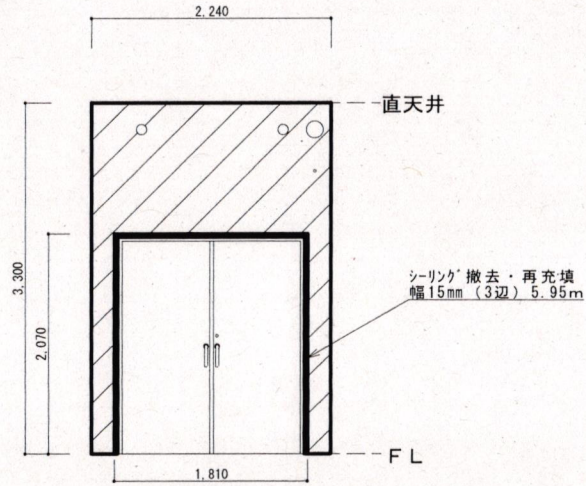
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事名称	エンジン整備場等雨漏り	図面番号	全10葉の内9
図面名称	交換機室平面図	縮尺	
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長
			班長
			設計
松島基地施設隊		令和5年 5月15日	

交換機室

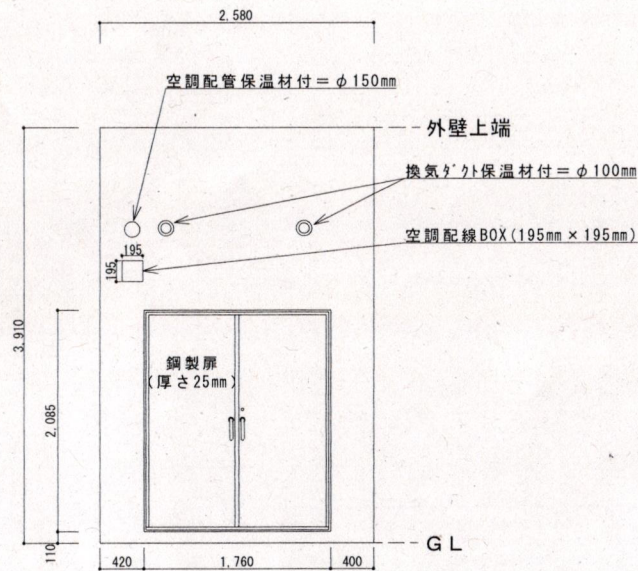


既設内観図

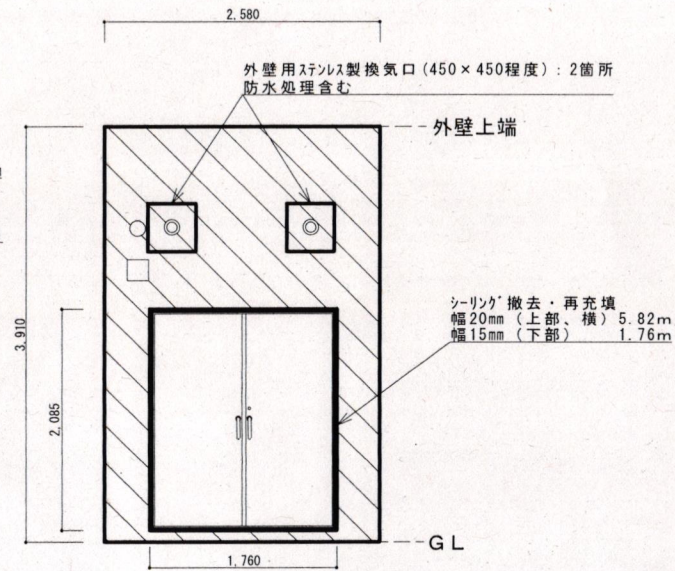


施工内観図

内壁側施工内容及び凡例	
	内壁塗装改修工事範囲=約3.61㎡
建具周りシーリング撤去・再充填=幅15mm (3辺) 5.95m	



既設外観図



施工外観図

外壁側施工内容及び凡例	
	外壁塗装改修工事範囲=約6.35㎡
建具周りシーリング撤去・再充填=幅20mm (上部、横) 5.82m 幅15mm (下部) 1.76m	
外壁用ステンレス製換気口 (450×450程度) 防水処理含む: 2箇所	

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製					
工事 名称	エンジン整備場等雨漏り 補修工事			図面 番号	全10葉 の内10
図面 名称	交換機室 内観図・外観図			縮 尺	
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班 長	設 計
松島基地施設隊			令和5年 5月15日		